

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和2年1月10日（金）10時35分～11時25分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、宇野課長補佐、知見主任安全審査官、松井安全審査官、  
高松係員、山中係員、田上係員、長崎技術参与、高木技術参与

福島第一原子力規制事務所

田中原子力運転検査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクト計画部 担当7名 福島第一原子力発電所 担当1名

## 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
  - 実施計画記載期限に関わる進捗状況について
    - ✓ 既設R/Bに係る設備の改造スケジュール
    - ✓ 止水対策の進捗状況及びスケジュール
  - 1～3号機原子炉建屋（R/B）の三角コーナーの連通性確認について
    - ✓ 1～3号機R/B三角コーナーの水位計がないエリア（5箇所）について、昨年12月に仮設水位計を設置し、建屋水位との連通性の確認を開始。現状ではいずれも連通性が確保されていることを確認。
    - ✓ 仮設水位計は連通性の確認が主目的であるため、実施計画の変更は予定していない。
  - 4号機R/B水位低下時の一時的な流入量増加について
    - ✓ 4号機R/Bの滞留水水位の挙動から、水位を低下させた直後に、R/Bのみ一時的に建屋流入量が増大。4号機のサプレッションチェンバー（S/C）からR/Bに水が流出していると推定。
    - ✓ 現状の評価ではS/Cが建屋滞留水から隔離されていることを前提としているため、S/CからR/Bへ流出した水は「地下水流入量」として算出されるが、今後の扱いについては検討中。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、
  - 1～3号機R/Bと三角コーナーの連通性について、建屋内の貫通孔等の位置・高さとの関係を整理して示すこと
  - 4号機のS/CからR/Bへ流出した水の扱いが決まり次第、報告すること等を求めた。

## 6. その他

資料：

- 汚染水対策スケジュール
- 水処理設備の運転状況、運転計画（2019年12月27日～2020年1月16日）
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について（2019年12月27日～2020年1月9日）
- 実施計画記載期限に関わる進捗状況について

- 1～3号機R／B三角コーナーの連通性確認について
- 4号機R／B水位低下時の一時的な流入量増加について